

取組実施状況について

《県北・県央・県南・県西・鹿行ブロック》

茨城県P3~8

【県北ブロック】

高萩市P9~10

ひたちなか市P11

常陸大宮市P12

東海村P13

大子町P14

【県央ブロック】

笠間市P15

茨城町P16

城里町P17

【県南[土浦]ブロック】

筑西市P18~19

つくばみらい市P20

【県南[竜ヶ崎]ブロック】

龍ヶ崎市P21~22

取手市P23~24

【県南[竜ヶ崎]ブロック】

守谷市P25

稲敷市P26

つくばみらい市P27

利根町P28

【県西】

古河市P29

結城市P30

下妻市P31

常総市P32

筑西市P33~34

坂東市P35~36

つくばみらい市P37

八千代町P38

境町P39~43

【鹿行】

潮来市P44

水戸地方气象台P45~50

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーションの公表

○新たに、県管理河川13河川について、洪水浸水想定区域図の作成及び基準水位の設定を進めております。

○避難勧告等の発令や避難所の体制など、市町村との調整が整った河川について、今後、公表していきます。

＜作成済の河川＞ 17河川

- 洪水予報河川： 利根川水系桜川
- 水位周知河川：
 - 那珂川水系 湊沼川
 - 久慈川水系 久慈川、浅川、里川、茂宮川
 - 二級河川 花園川※¹、大北川※¹、関根川、花貫川、十王川※¹

＜現在、作成中の河川＞ 13河川

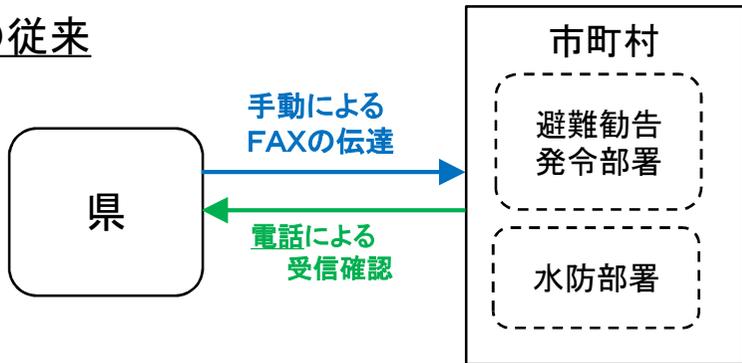
- 那珂川水系 桜川、藤井川※¹、湊沼川※²
 - 久慈川水系 山田川※¹、飯田川※¹
 - 利根川水系 桜川、恋瀬川、谷田川、中通川、北浦川、大正堀川、田川、向堀川
- ※¹ ダム下流河川 ※² 一部作成済



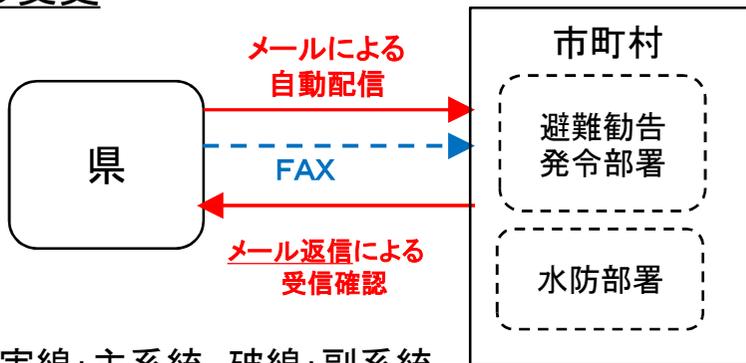
水防団等への連絡体制の再確認と伝達訓練の実施

- 県河川の情報迅速に市町村へ伝達するため、洪水警報、水防警報、水位到達情報の伝達について、従来の手動によるFAXの伝達から、自動配信によるメールを主とした伝達に変更しました。(R2.9.29伝達訓練を実施)
- また、気象庁の危険度分布を活用し、「水防警報」に予測水位の情報を追記しました。
- 今後、国河川に係る情報についても、メールを主とした伝達に変更します。

●従来



●変更



実線:主系統 破線:副系統

水防警報

茨城県 水戸土木事務所発表

令和2年10月05日 時 分

| 発令河川 | 基準水位観測所 | 発令情報 | 発表番号 |
|------|---------|------|------|
| 涸沼川 | 高橋 | 準備 | 1 |

【現況】

1 警戒レベル1相当情報[洪水]

2 高橋水位観測所の水位は、5日11時40分現在0.44mです。

3-1 高橋の水位は、5日11時40分に水防団待機水位(指定水位)を下回りました。

【予想】

危険度分布(気象庁)によると、警戒レベル4相当(紫)のため、今後、氾濫危険水位付近までの上昇が見込まれます。

【指示】

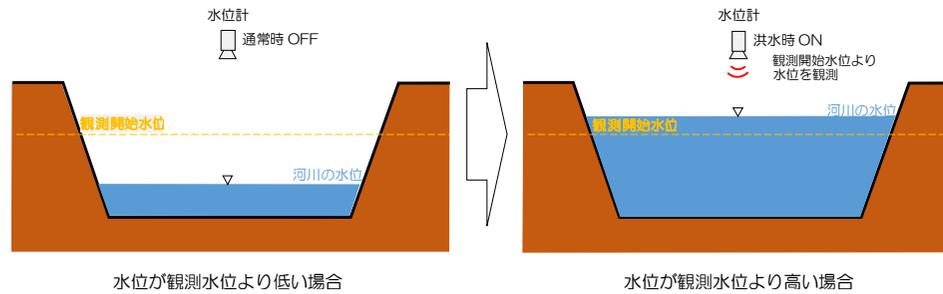
9 水防機関は、準備してください。

※洪水警報の危険度分布(気象庁)より、警戒レベル4(紫)になった河川については、水位上昇の見込みを記載。

簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

○県では、地先レベルでのきめ細やかな水位把握ができるよう、洪水時の水位観測に特化した「危機管理型水位計」の設置を平成30年度より進めており、住民の迅速な避難行動に役立つ情報を提供しております。

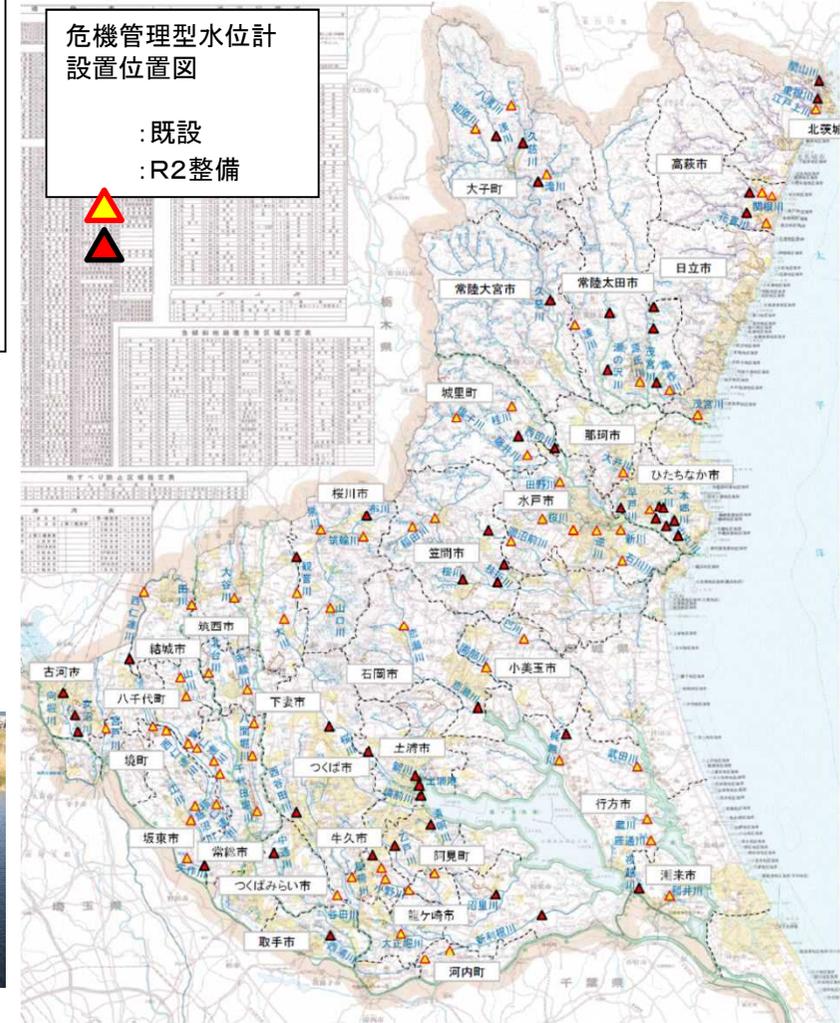
○設置においては、主に堤防高さや川幅などから、相対的に氾濫が発生しやすい箇所や、人家密集地域の浸水する可能性が高い箇所などを抽出、現地状況等を考慮し配置箇所を選定しております。令和2年度は新たに49箇所を増設し、県内全117箇所が設置済み。



水位グラフ



設置されている水位計の例



簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置

○県では、氾濫の危険性が高く、人家や重要施設のある箇所「簡易型河川監視カメラ」を設置し、河川状況を確認することで、従来の水位情報に加え、リアリティーのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促す。
○令和2年度は令和元年東日本台風で被災した河川を中心に、簡易型河川監視カメラを67河川101箇所新設した。

| 水系名 | 河川名 | 観測所名 | 所管 | 洪水/周知/水防 | 所在地 |
|-----|-----|------|------|----------|-------|
| 那珂川 | 田野川 | 田野川橋 | 水戸土木 | ×/×/× | 田野町地先 |

2021年02月10日 21時55分 現在

田野川橋 (田野川)

リアルタイム画像 (5分更新)

2021-02-10 21:55

21時05分 (50分前) | 21時15分 (40分前) | 21時25分 (30分前) | 21時35分 (20分前) | 21時45分 (10分前) | 21時55分 現在

画像をクリックすると拡大表示します。

履歴画像

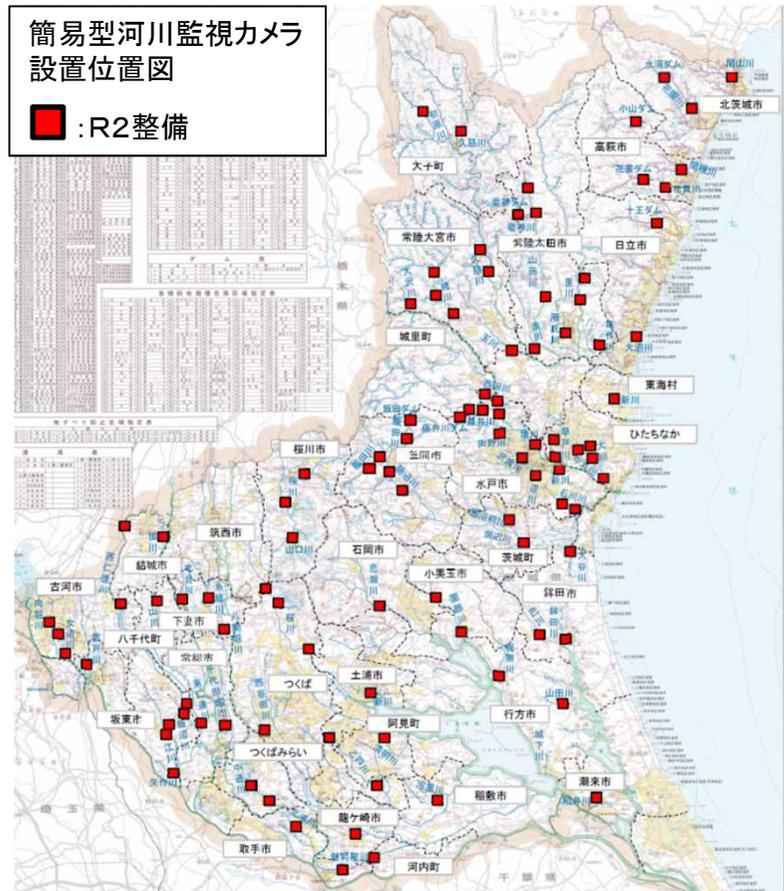
平常時の画像

平常時

設置されている簡易型河川監視カメラの例

簡易型河川監視カメラ設置位置図

■ : R2整備



県が設置した危機管理型水位計、簡易型河川監視カメラの情報は、県ホームページや右のQRコードより「茨城県土木部雨量・河川水位情報」→「現況表」→「カメラ情報」で確認することができます。



(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

令和2年度 of 取組状況

- 1 市町村へ要配慮者施設の確認及び地域防災計画への位置付けを依頼し、対象施設の取組状況を取りまとめた。
- 2 市町村、河川事務所、気象庁と連携し、「要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会」を開催した。
- 3 また、作成率が8割を超えたことから、作成支援から避難訓練の支援に軸足を移しつつある。



茨城県における要配慮者
利用施設の避難確保計画
作成に係る講習会

※ コロナ禍にあり施設からの協力が得られにくいのが、大子町、つくば市の施設において避難確保計画に基づく避難訓練を支援予定。

- 4 災害対応勉強会において、作成率が飛躍的に向上した取手市の取り組みの紹介を行うとともに、要配慮者利用施設の考え方について提示した。

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

防災教育の促進

令和2年度の取組状況

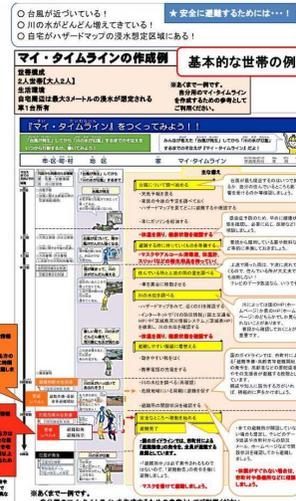
令和2年度住民避難力強化事業において、マイ・タイムライン等の作成支援事業を実施した。

- ・実施回数：計19回（12市町） ※令和2年12月15日時点
- ・対象：水害の危険度が高い地域に居住する県民，県庁見学により来庁した小学生，要配慮者を支援する福祉関係職員
 - ※県内の市町村及び県関係部局と連携し，様々な年代の県民に向けた防災知識の効果的な啓発を促進した。
- ・実施内容：①ハザードマップを活用した居住地の災害リスク及び避難先の確認。
 ②避難勧告等行政が発信する情報の確認及び避難のタイミングの検討。
 ③マイ・タイムライン作成を通じた，避難に向けた準備行動及び行動するタイミングの検討。
 ※家庭におけるマイ・タイムラインの作成を支援する為，家族構成に応じた4つの作成例や，作成支援動画を制作し，県ホームページへ掲載している。



ケアマネジャー等への →
マイ・タイムライン作成講座
(利根町役場大ホール)

← 県庁見学における
マイ・タイムライン作成
講座(県政シアター)



↑ マイ・タイムライン作成支援動画

← マイ・タイムラインの作成例 8

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

自主防災組織に対する防災講座の実施

(自主防災組織に対し防水・防災講座を実施) 秋山下地区



地域ぐるみで防災対策を

実施内容

日時: 令和2年11月29日

場所: 秋山下生活改善センター

目的: 浸水想定及び土砂災害警戒区域に居住する市民を対象とした防災出前講座を開催することで、災害時に適切な行動がとれるよう、市民の避難力を強化すること。

概要: 防災出前講座の一環として市内を流れる2級河川である花貫川洪水浸水区域の自主防災組織に対し防災講座を行った。

講座では、市から大雨時のマイ・タイムラインについて説明したあと、実際に作成をしてもらった。

また、高萩工事事務所及び市消防予防課からも防災に関する講演を行った。

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

市民に対するマイ・タイムライン普及啓発

(市報においてマイ・タイムラインの啓発を実施)

防災コーナー




「マイ・タイムライン」とは、
 風水害の発生に備えて一人ひとりの家族構成や生活環境に合わせ、あらかじめ作成する自分自身または家族の避難計画のことです。
 今回はS家の「マイ・タイムライン」を紹介したいと思います。

危機対策課からのコメント

通常は在宅避難ですが、超大型台風であるため、指定避難所(秋山小学校)に避難する「マイ・タイムライン」となっています。
 2日前に家族会議、持ち物の確認、1日前に飛散物、自宅周辺点検、避難手段、ルートの確認を実施する計画です。
 また、持ち物に感染症予防対策品もしっかり入っていてコロナ対策も万全で模範的と言えます。



S_家 マイ・タイムライン

【想定】

- 花賀川浸水想定区域(5m～30m)
- 超大型の台風が萩域県に上陸
- 避難場所 在宅避難又は秋山小学校

自宅の危険度 ハザードマップで調べた自宅の危険度などを記入していただきます。

| | | | |
|----------|----------|--------|----------|
| 浸水想定水深 | 土砂災害警戒区域 | 津波浸水深度 | 指定避難場所 |
| 0.5m～30m | 内 外 | 0 m | 秋山小学校です。 |

マイ・タイムライン

| 避難までの時間(想定) | 私の備え |
|-------------|---|
| 3日前 | - 避難所の確保を、子ども・インナーネットでは済ませず |
| 2日前 | - 家族で話し合い、各自の役割を確認 - 避難時の持ち物の準備開始(食糧、マスク、アルコール除菌シート等) |
| 1日前 | - 自宅敷地内の飛散物(積水鉢等)の確認と、指定区域への移動 - 自宅周辺点検(雨水管、排水管の詰まり等) - 避難手段、ルートの確認(危険箇所への注意) |
| 当日夜 | - 避難所に行くための準備を完了 |
| 当日朝 | - 超大型の台風のため、指定避難所ではなく指定避難所へ避難を決定 |
| 当日昼 | - 情報収集と避難準備 |
| 0時既 | - 避難所にて1日の安全を確保し情報収集 |

■ 問合せ 危機対策課 ☎23-2215

実施内容

昨年度の水害や豪雨の多発を受けて、令和2年市報12月号において、市民に対して「マイ・タイムライン」の普及・啓発を行った。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受けて、避難する際の対策を含めた啓発を行った。

(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

マイ・タイムライン作成講習会

令和2年度の取組状況

- 1 河川国道事務所と連携し, 要配慮者利用施設の管理者等を対象に, 「マイ・タイムライン作成講習会」を開催した。



- 2 講習会後にアンケートを実施し, 下記のとおり回答を得た。(参加者12名全員回答) ※質問及び回答は一部を抜粋

①今回の講習会の内容は理解できましたか。

→理解できた(50%), 概ね理解できた(50%)

②水害からの逃げ遅れゼロに向けて, マイ・タイムラインは有効だと思いますか。

→有効だと思う(100%)

③講習会で避難先を検討したとき, 困ったことはありますか。

→公共の避難所まで徒歩では遠い, 避難のタイミング, 感染症対策が不安 等

④令和元年度東日本台風の際は, どのような避難行動を取りましたか。

→台風情報を確認した, 居住地と上流の雨量を確認した, 水位情報等を確認した, ハザードマップを確認した 等

- 3 今後について

今回の講習会で得られた回答を基に, より分かりやすい講習会を行っていくとともに, 実際の災害時にどういった時期にどのような情報発信方法が適切であるかを検討していく。

(1)円滑かつ迅速な避難のための取組
 ②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項
 防災教育の促進

令和2年度 of 取組状況

1 国・県と連携し、マイ・タイムライン作成講習会を開催した。



【山方地域】



【御前山地域】

【講習会の概要】
 ・水害リスク(市洪水ハザードマップの説明等)について
 ・マイ・タイムラインの作成(説明後, 実習)

| 日時 | 対象 | 日時 | 対象 |
|-----------|----------------|----------|----------------------------|
| 9月18日(金) | 市職員 | 2月13日(土) | 中止(新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等を考慮) |
| 11月14日(土) | 山方地域(自主防災会・区) | 2月27日(土) | |
| 11月28日(土) | 御前山地域(自主防災会・区) | | |

※ 久慈川及び那珂川の浸水想定区域を含む地区の自主防災会・区の役員を対象とした。

2 令和3年度においては、自主防災会・区の要望により、優先度の高い地区から直接住民が参加する講習会を開催する予定

避難所の開設・運営方法の周知

東海村

新型コロナウイルス感染症に伴う避難所の開設・運営方法の変更に関して、チラシの作成及び住民への説明会を実施した。



新型コロナウイルス感染症の感染予防・拡大防止のため、最初の段階で開設する避難所を増やすこと、警戒レベルに応じて取るべき避難行動等をまとめたチラシを作成し、全戸配布するとともに、地域ごとに説明会を実施した。

説明会の中では、災害時に安全が確保できないときには、迷わず避難行動を取ることや、その方法としては、縁故避難など、避難所に行く以外も考えられることなどへの理解促進を図った。

**“新型コロナウイルス感染症”の
災害時における感染予防・拡大防止のため、
避難所の開設・運営方法が変わります!**

災害時において、避難所の過密化（“3つの密”…密閉空間・密集場所・密接場面）を避けるなど、新型コロナウイルス感染症対策を進めるため、あらかじめ、ご自身の安全確保の方法や避難の際の持ち物等の確認をお願いします。

災害時は、次の避難所を初めに開設します!

- ①石神・村松・白方・中丸・舟石川の各コミュニティセンター
- ②石神小学校・白方小学校の体育館
- ③東海村総合福祉センター「絆」
- ④なごみ東海村総合支援センター

危険な場所からは、迷わず避難を!

“避難”とは“災害を避ける行動”によって、ご自身の安全を確保することです。村や国（気象庁等）・茨城県、報道機関からの情報に注意し、災害の危険があり、ご自身の安全が確保できないときは、迷わず避難するようにしましょう。

“避難”には、避難所に行く以外にも方法があります!

安全な場所にいる人は、避難する必要はありません

“避難”の形態には、避難所の利用以外にも次のような方法があります。さまざまな避難方法（分散避難）について、普段から考えておきましょう。

- “在宅避難”…在宅で安全が確保できるか？
自宅等で待機可能か？
- “縁故避難”…親戚・知人宅等への避難ができるか？
- “自主避難”…宿泊施設等を確保しての避難ができるか？
- “直進避難”…自宅等の高所階への避難ができるか？
（水害・土砂災害時に限る）

**「警戒レベル3」「警戒レベル4」
「警戒レベル5」で確実に避難**

| 警戒レベル | 避難行動等 |
|---|--|
| 警戒レベル5 災害発生情報 （自治体が発表） | 既に災害が発生している状況です。命を守るための最善の行動をとりましょう。 |
| 警戒レベル4 避難勧告 避難指示（緊急） （自治体が発表） | 速やかに危険な場所から避難先へ避難しましょう。 公的な避難場所までの移動が危険と思われる場合は、近くの安全な場所や、自宅内より安全な場所に避難しましょう。 |
| 警戒レベル3 高齢者等避難開始 避難準備・高齢者等避難開始 （自治体が発表） | 避難に時間を要する人（高齢の方、障害のある方、乳幼児等）とその支援者は避難をしましょう。その他の人は、避難の準備を整えましょう。 |
| 警戒レベル2 洪水注意報 大雨注意報等 （気象庁が発表） | 避難に備え、ハザードマップにより、自らの避難行動を確認しましょう。 |
| 警戒レベル1 早期注意情報 （気象庁が発表） | 災害への心構えを高めましょう。 |

問い合わせ 東海村 村民生活部 防災原子力安全課（消防防災・原子力安全担当）
住所：〒319-1192 茨城県鹿嶋市東海村東海三丁目7番1号
TEL：029-282-1711（内線1524） FAX：029-270-4418 E-Mail：bousai@vill.tokai.ibaraki.jp

水防機材の操作訓練

大子町

町が配備した排水ポンプ車操作訓練の実施
浸水被害から町を守るため、町が配備した排水ポンプ車の操作訓練を実施しました。



実施内容

1. 一級河川久慈川及び押川
令和2年11月13日(金)13時～
2. 参加機関
株式会社クボタ(ポンプ生産業者)
大子町
・総務課
・災害対策本部排水班
3. 訓練内容
・排水ポンプ車操作訓練
4. 概要
令和2年9月に配備完了した町有の排水ポンプ車の操作訓練を実施した。また当該ポンプ車の運用に当たり、町は災害時の排水班「D-FORCE」を発足し、出動から排水ポンプ設営までの手順を確認した。
町内の運用をもちろんのこと、町外への広域支援を視野に入れ、今後取組方針を検討していく。

重要水防箇所現状の確認

第15回「土砂災害・全国統一防災訓練」にあわせて、涸沼川の重要水防箇所点検を実施
 涸沼川の重要水防箇所を訓練にあわせて、関係各課と連携し、現況調査および点検を実施しました。



| 実施内容 | |
|------------|--|
| 1. 一級水系涸沼川 | 令和2年年6月7日(日)午前8:30～ |
| 2. 参加者 | 笠間市総務課危機管理室 笠間市都市建設部管理課 笠間市都市建設部建設課 |
| 3. 点検内容 | 重要水防箇所における ・訓練時の現況 ・箇所 ・重要度 ・過去の水害実績 |



(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

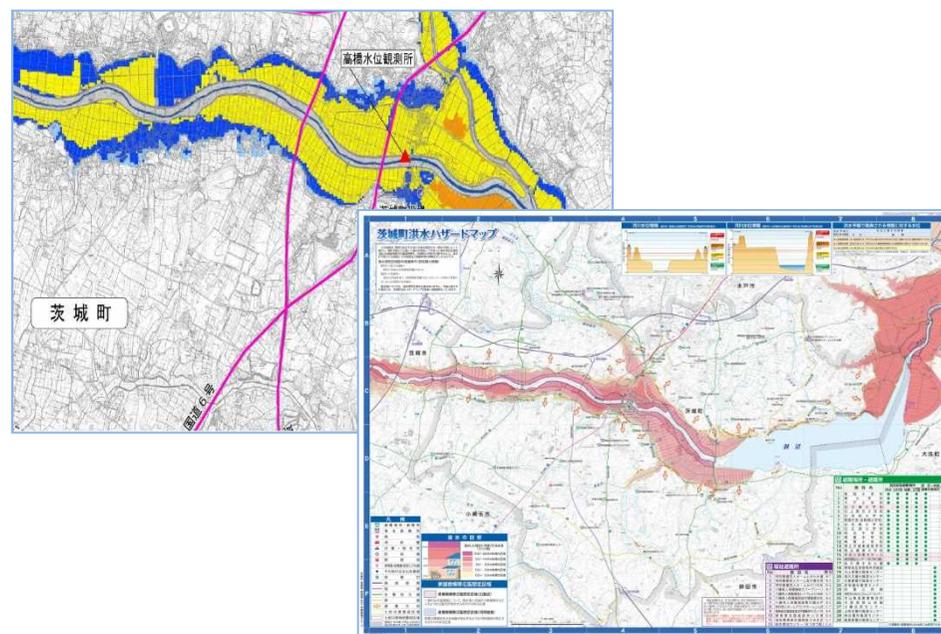
要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進

令和2年度の取組状況

- ・令和2年10月6日に常陸河川国道事務所, 水戸地方気象台, 茨城県と共同で要配慮者利用施設の避難確保計画作成に係る講習会を開催
- ・講習会后, 参加した対象施設全てで避難確保計画が作成済となった。
- ・浸水想定区域および土砂災害警戒区域内に立地する対象施設の防災に対する意識の向上, 防災体制の向上に繋がった。



【グループワークの様子】



(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

住民への確実な情報伝達方法の確立

令和2年度の取組状況

■ 防災行政無線の再整備

防災行政無線のシステムについては、合併以来、別々のシステムで運営してきたため、町内同一システムの統一とデジタル化を図るために整備を行った。

複数の情報伝達手段を、一元化発信可能な防災情報システムを整備することで、迅速かつ的確に提供可能となる。

(令和元年度～2年度 整備工事)

■ 戸別受信機の全戸配布

防災行政無線放送を、屋内でも確実に情報が得られるよう、戸別受信機を希望する世帯へ無償で貸与する。

(令和2年度～)

屋外拡声子局



配布する「戸別受信機」



水害ハザードマップの改良、周知、活用

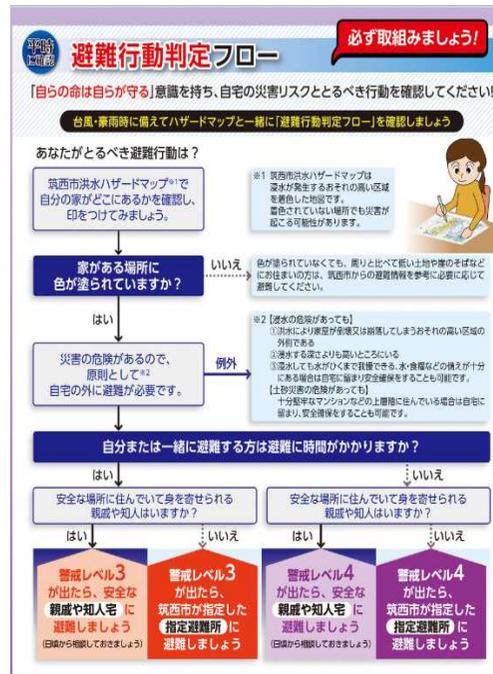
筑西市

洪水ハザードマップの更新・周知

想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、筑西市洪水ハザードマップを更新・改訂

実施内容

災害に備えるツールの1つとして活用していただくように防災情報などを改訂し「筑西市洪水ハザードマップ（2020年8月改訂版）」を市内全戸（約37,700世帯）に配布。また、情報面には「避難行動判定フロー」や「避難情報のポイント」を新たに追加し、危険箇所の確認に加え、分散避難の考え方や避難情報の確認などの解説も掲載。



防災教育の促進

小学生を対象とした防災教育の実施

小学校の防災訓練の中で、洪水ハザードマップを活用した水災害教育の取組

実施内容

市内小学校において、筑西消防署と共に大規模地震を想定した各種訓練を実施し、防災意識の高揚及び災害時の対応能力の向上を図るとともに、洪水をはじめ、水害からの避難を想定し、洪水ハザードマップを活用しながら、警戒レベル、防災関連グッズなどを説明・指導する防災コーナーを併設し、防災知識の普及を推進。

- 令和2年10月 2日(金) 嘉田生崎小学校 141名参加
- 令和2年10月20日(火) 村田小学校 163名参加



(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

行政区などで、小規模での「防災講座」を開催しました。

令和2年度の取組状況

○浸水想定区域内の行政区及び自治会等の住民を対象に、防災講座「水害時における避難体制の構築について」を開催し、災害時における、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設方針や、避難所での感染リスクを考慮した、「分散避難」や「車中泊避難」の検討、さらに、避難時における、自助・共助の重要性を伝えました。

2020年 8月30日(日) 谷井田南3区

2020年 9月20日(日) 青木地区

2020年 11月 15(日) 谷井田北5区

その他、山王新田7期及び8期等地区等にて実施。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、屋外にて規模を縮小し、当講座を実施しました。



避難勧告等発令の対象区域、判断基準等の確認 (水害対応タイムライン)

龍ヶ崎市

新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所設営訓練を実施

水害発生時を想定した避難所において、感染症対策を講じた避難所設営訓練を実施しました。

目的

新型コロナウイルス感染症が拡大した社会情勢の中で避難所を開設することが想定される状況を受けて、避難者や地域住民の協力をいただきながら、避難所開設・運営訓練を実施し、実災害に向けての備えを強化した。



← 受付訓練の様子

↓ 間仕切り設営訓練の様子

内容

- 実施日
令和2年7月12日(日) 9時～11時
- 実施場所
松葉小学校、松葉コミュニティセンター
- 参加者
市職員、松葉小学校教職員、松葉地区住民、避難地区住民(馴染地区、北文間地区、川原代地区)、セツカートン株式会社等 計59名
- 実施内容
避難所受付訓練、テント・間仕切り設営訓練等



水防に関する広報の充実 (水防団確保に係る取組)

水防活動の担い手となる水防団員の募集を強化
水防団員の募集チラシを作成し、全戸配布(約32,000世帯)を行いました。

一緒に 私たちは龍ヶ崎市消防団です！
地域を守るために活動しませんか？



龍ヶ崎市消防団ってどんな人たち？どんな役割があるの？

龍ヶ崎市に在住・在勤・通学している18歳以上の方です。それぞれ仕事を持ちながら、火災時の消火活動による消防署のサポートなど、以下のような地域の防災活動を行っているチームです。

- 火災時の消火活動
- 災害時の救助活動
- 水害時の河川警戒活動
- 震災時の避難誘導

どんな活動をしているの？

緊急時の火災等の出動に備え、安全かつ的確に活動できるよう、様々な訓練、機械器具の点検を行っています。また、地域の防災訓練のお手伝いもしています。

- 規律訓練: 消防団員の基本動作などを習得。
- 操法大会: 火災消火時の放水操作等を競う大会に参加。
- 放水訓練: 消防車やポンプ操作をして放水訓練を実施。
- 地域の防災訓練: 地域の防災訓練で救助活動方法をレポート。

消防団員になると…？実は、いろいろな特典が！詳しくは裏面へ

←作成・全戸配布した募集チラシ【表面】

目的

近年、令和元年房総半島台風、令和元年東日本台風等大規模災害が増えており、消防団の役割が広がっていることから、若年層をはじめ、より多くの担い手を確保し、災害に強く、安心して暮らすことのできる龍ヶ崎市を目指すことを目的に新入団員募集のチラシを作成し、全戸配布しました。

また、チラシの配布と併せ、市広報紙「りゅうほ一」において、台風・集中豪雨時の堤防巡視活動や堤防決壊予防活動等を紹介し、消防団の水防活動における役割を発信することで、活動に対する市民への理解促進を図りました。

内容

- 実施時期
令和2年11月
- 配布対象者
龍ヶ崎市民全世帯(約32,000世帯)
- 実施結果
チラシを見た市民が消防団員(水防団員)として加入しました。

タイトル

取手市

(別添の『実施する施策一覧表』の黄色ハッチングから選択記載)

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

【事例:右図】

○藤代紫水高校にて第1学年約240名に対し、防災士8名及び市職員による防災講座(R2.11.26)

【他の主な事例(抜粋)】

○地元のマイ・タイムラインリーダー外部講師による市新採職員22名へのマイ・タイムライン作成講座(R2.11.18)

○取手一高における地域マイスター授業にて、防災に関する講座を実施(R2.6.24,R2.11.4)



実施内容

地域の自主防災組織、自治会、学校、企業等からの出前講座要望があった際は積極的に参加し、啓発活動に取り組んでいる。

市職員のみならず、防災士会、地域防災リーダーの方などと密に連携を取り、行政と地区が一体となった普及活動を進める。

タイトル

取手市

(別添の『実施する施策一覧表』の黄色ハッチングから選択記載)

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

【事例1: 上図】

日付:令和2年10月28日

対象:市立白山小学校

人数:第4学年67名

講師:取手市

【事例2: 下図】

日付:令和2年12月10日

対象:市立取手小学校

人数:第6学年約70名

講師:国交省、取手市



実施内容

「逃げ遅れゼロ」を目指し、市内の小学生を対象とした防災教育を実施した。内容は、年齢に合わせた防災概要説明から始まり、ハザードマップの見方、自治体の取り組み、「逃げキッド」によるマイ・タイムライン作成など多岐にわたる。

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

実施内容

○新型コロナウイルス影響下における災害への備えとして、令和2年9月6日(日)に、郷州小学校をモデル避難所として、避難所開設・運営等の訓練を実施した。参加者(自主防災組織の代表、まちづくり協議会の代表及び浸水想定区域内(みずき野地区)の住民)には一般避難者、体調不良者及び要配慮者役として、検温、健康チェックシートの記入からゾーン分けされた避難所内の移動及びテントや段ボールベッドの組み立てを行う等、新型コロナウイルス影響下における避難所を体験していただいた。

訓練の様子



○総合受付での検温

防災教育の促進

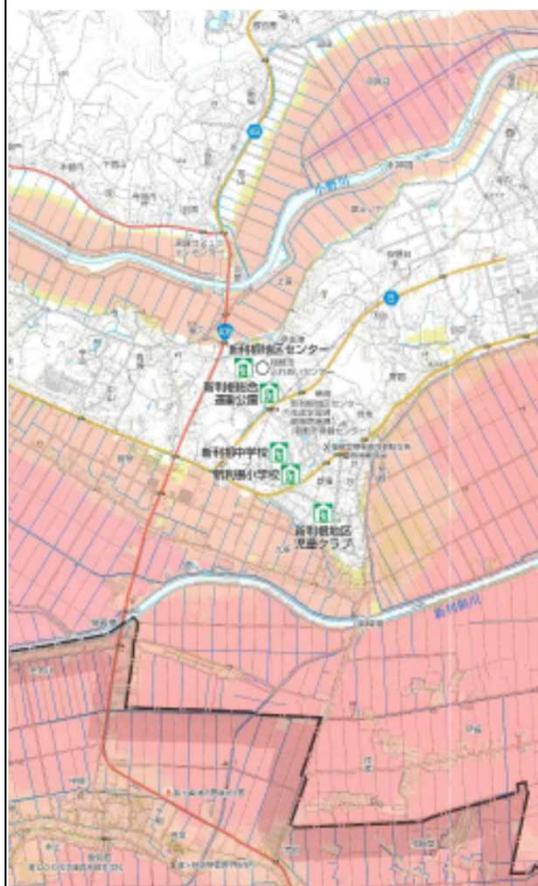
稲敷市

(2)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

小学生を対象とした防災教育の実施

位置図



実施内容



・稲敷市立新利根小学校で、「逃げキッド」を使用したマイタイムライン講習会を実施。

・当小学校からの要望により、霞ヶ浦河川事務所職員を講師にお招きし、貴重な体験談を交えながら講習を進めていただきました。

・当小学校は利根川浸水想定区域と霞ヶ浦浸水想定区域に挟まれた位置、さらに県管理1級河川である小野川と新利根川に挟まれた位置にあり、浸水は身近に起こり得る災害であることを認識してもらいました。

・新型コロナウイルス感染症対策をしながらの講習となりましたが、今後もこういった機会を増やしてまいります。

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

行政区などで、小規模での「防災講座」を開催しました。

令和2年度の取組状況

○浸水想定区域内の行政区及び自治会等の住民を対象に、防災講座「水害時における避難体制の構築について」を開催し、災害時における、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設方針や、避難所での感染リスクを考慮した、「分散避難」や「車中泊避難」の検討、さらに、避難時における、自助・共助の重要性を伝えました。

2020年 8月30日(日) 谷井田南3区

2020年 9月20日(日) 青木地区

2020年 11月 15(日) 谷井田北5区

その他、山王新田7期及び8期等地区等にて実施。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、屋外にて規模を縮小し、当講座を実施しました。



(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達、避難計画等に関する事項

タイムライン(ホットラインを含む)に基づく首長も参加した実践的な訓練

新型コロナウイルス感染拡大防止対策を講じた避難所開設訓練

令和2年度 of 取組状況



実施内容

7月22日に利根町役場・利根町文化センターにおいて、コロナウィルス感染対策を講じた、避難所開設訓練を実施。

災害対策本部を設置し、職員の初動訓練を行った。コロナ禍ということもあり、各区の区長等と利根町防災士会の方々に、見学して頂いた。

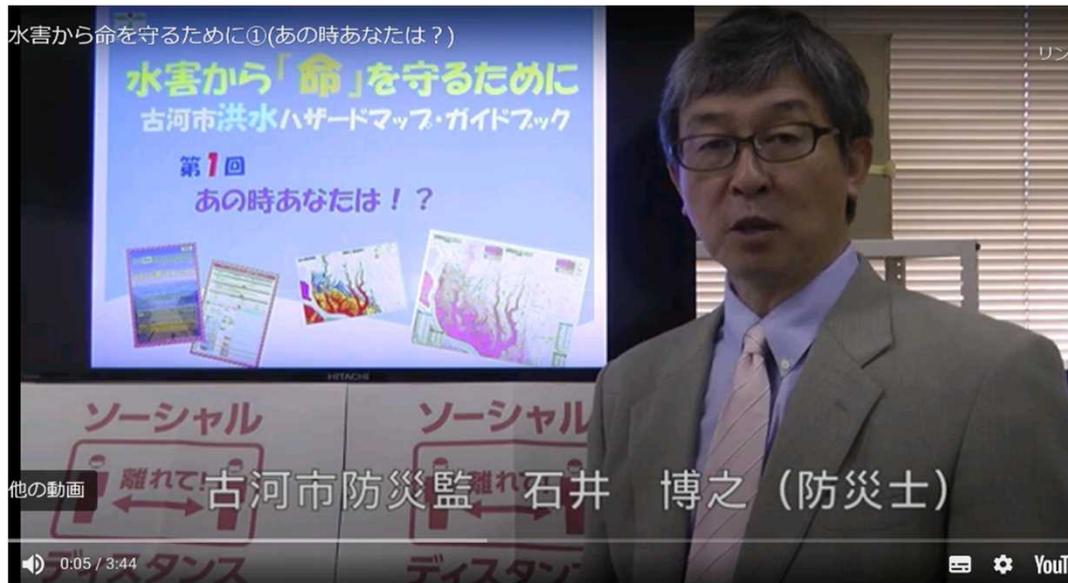
- ① 受付時の訓練として、防護服着用職員による受付・検温
- ② 3密を避けるための、間仕切り設置訓練
- ③ 対策本部と避難所をリモートによる接続。モニターを通しての現場中継訓練。

マイ・タイムライン作成啓発動画の作成

古河市

- (1)円滑かつ迅速な避難のための取り組み
- ②平時からの住民等への周知

○水害から「命」を守るための行動をとってもらうため、ハザードマップ・ガイドブックに沿って、マイ・タイムラインの普及啓発動画を作成し、周知しています。



| 実施内容 |
|---|
| ・令和2年4月 ハザードマップを全戸に配布。 |
| ・令和2年6月 古河ケーブルテレビに委託して、ハザードマップ・ガイドブック啓発動画を作成。ケーブルテレビで適宜放映中。 動画はDVDにして、貸出にも対応。 |
| ・令和2年8月 上記ケーブルテレビ作成の動画とは別に、マイ・タイムラインを作成するための動画を作成。市ホームページにて、公開。 全6回の動画に分け、令和元年東日本台風(台風19号)の時の振り返りから、ハザードマップ・ガイドブックを用いて、水害が起きる仕組み、水害から命を守る行動について解説。 動画を通してマイ・タイムラインの作成を学べるつくりとなっています。 |

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

結城市

① 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

水害を想定した避難所運営・情報伝達訓練, 及び避難所受付デモンストレーション



この投稿は【訓練】です。
【令和2年度結城市民防災訓練】

! 緊急情報 !

- 発令時刻
11月29日 午前10時55分
- 発令内容
・避難勧告 警戒レベル4
危険な場所から全員避難

- ▶鬼怒川の水位が避難判断水位に達しました。
- ▶以下の対象地域の方は速やかに安全な場所へ避難してください。

- 対象地域
結城市結城(結城用水以東)、大谷瀬、小森、久保田、中、林、上山川東部、山王、芳賀崎、浜野辺、水海道

- 開設避難所
結城小学校、結城第一高等学校、鹿窪運動公園、いきがいふれあいセンター、結城南中学校

- ※防災行政無線・テレビ・ラジオ等の情報に注意してください。
- ※近所の方にも声をかけて避難してください。

この投稿は【訓練】です。
【令和2年度結城市民防災訓練】

実施内容

○日時 令和2年11月29日(日)9時~12時

○場所 市民文化センター アクロス

○参加者
自治協力員及び自主防災組織代表者等
(約100名)

○目的
自治協力員及び自主防災組織代表者等に
防火・防災に関する関心を喚起し、自主防災組織
結成促進及び避難所開設・運営意識の高揚
を図る

○内容

- ①防災講演会
「避難所の開設と運営」
- ②情報伝達訓練
「結城市LINE公式アカウント」を利用した市民への周知訓練
- ③避難所受付訓練
新型コロナウイルス感染症対策を講じた避難所受付のデモンストレーション
(女性消防団による実演)
- ④参加者による意見交換会

住民が参加する避難訓練

コロナ禍の情勢を鑑みて、職員・関係機関等で訓練を実施
市民の参加は呼びかけず、災害対策本部運営訓練、避難所開設・運営訓練等を実施しました。

位置図



実施内容

1. 訓練実施日
令和2年8月10日（月・祝）
2. 参加機関
下妻市（市長以下災害対策本部員・消防交通課職員）・
下妻市消防団・下妻消防署・
下妻警察署・陸上自衛隊第1施設
団本部及び第101施設器材隊
3. 訓練内容
 - ・災害対策本部運営訓練
 - ・段ボール間仕切り・段ボールベッド
作成・設置
 - ・避難所開設・運営訓練
4. 概要
災害対策本部運営訓練後、市職員（避難所担当・保健師）が市総合体育館に参集し、間仕切り・段ボールベッドの作成・設置、避難所の開設・運営訓練を実施した。

常総市 防災士連絡協議会による 介護予防教室でのマイ・タイムライン講習

常総市

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

川又町防災講座

9月11日(金) 10:00~11:30
川又町公民館にて

マイ・タイムラインを作成して台風災害に万全の備えを!

マイ・タイムラインとは…

台風の接近によって河川の水位が上昇する時に、自分自身がとる標準的な防災行動を時系列的に整理し、とりまとめたものです。いざというとき逃げ遅れないように、行動のチェックリストや避難判断の目安として活用されています。



当日は防災士の先生をお呼びして、詳しく教えていただきます!
台風の多いこの季節に、みんなで防災意識を高めましょう!

※著作権者(さんぽう・堂しづみ) にご同意ください



実施内容

○当市の福祉部門が支援している『介護予防推進教室』において、教室参加者を対象に、常総市防災士連絡協議会の会員が講師をつとめ、マイ・タイムライン作成教室を開催しました。

この取り組みは、第一に自力避難するための体力向上を図りつつ、水害の際の逃げる計画(マイ・タイムライン)を自身で計画することで、より逃げ遅れゼロの取り組みになること、第二に講師は、講師・補助者を経験することによって自身のマイ・タイムラインリーダーとして研鑽ができる…という2つの要素を兼ねた事業となっています。

○実施回数 6回 (R3.3.1時点)
○参加人数 86人 (R3.3.1時点)

水害ハザードマップの改良、周知、活用

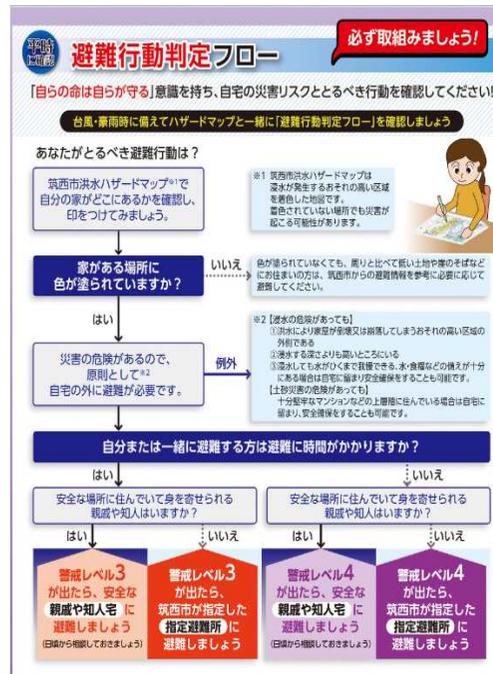
筑西市

洪水ハザードマップの更新・周知

想定最大外力にもとづいた洪水を対象に、筑西市洪水ハザードマップを更新・改訂

実施内容

災害に備えるツールの1つとして活用していただくように防災情報などを改訂し「筑西市洪水ハザードマップ（2020年8月改訂版）」を市内全戸（約37,700世帯）に配布。また、情報面には「避難行動判定フロー」や「避難情報のポイント」を新たに追加し、危険箇所の確認に加え、分散避難の考え方や避難情報の確認などの解説も掲載。



防災教育の促進

小学生を対象とした防災教育の実施

小学校の防災訓練の中で、洪水ハザードマップを活用した水災害教育の取組

実施内容

市内小学校において、筑西消防署と共に大規模地震を想定した各種訓練を実施し、防災意識の高揚及び災害時の対応能力の向上を図るとともに、洪水をはじめ、水害からの避難を想定し、洪水ハザードマップを活用しながら、警戒レベル、防災関連グッズなどを説明・指導する防災コーナーを併設し、防災知識の普及を推進。

- 令和2年10月 2日(金) 嘉田生崎小学校 141名参加
- 令和2年10月20日(火) 村田小学校 163名参加



(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

①情報伝達, 避難計画等に関する事項

タイムライン(ホットラインを含む)に基づく首長も参加した実践的な訓練

令和2年度の取組状況

○ 茨城県・坂東市避難力強化訓練を実施

令和2年10月31日(土)、市立七重小学校、小山上農村集落センター、特別養護老人ホーム延寿館、坂東市役所を会場として、迅速・的確な避難行動の普及啓発、感染症に対応した避難所の開設運営、マイ・タイムラインの普及等を目的に、茨城県と共同で「利根川の洪水からの避難」を想定した訓練を実施した。



感染症に対応した避難所設営



マイ・タイムライン作成講座



要配慮者の避難

(1)円滑かつ迅速な避難のための取組

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

小学生を対象とした防災教育の実施

令和2年度の取組状況

○小学生を対象とした防災教育の一環としてマイタイムライン作成講座を開催

| | | | |
|------------|-----------|---------|-----|
| 令和2年 9月15日 | 坂東市立七郷小学校 | 5年生、6年生 | 63名 |
| 令和2年11月17日 | 坂東市立沓掛小学校 | 5年生、6年生 | 85名 |



(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

行政区などで、小規模での「防災講座」を開催しました。

令和2年度の取組状況

○浸水想定区域内の行政区及び自治会等の住民を対象に、防災講座「水害時における避難体制の構築について」を開催し、災害時における、新型コロナウイルス感染症対策を踏まえた避難所の開設方針や、避難所での感染リスクを考慮した、「分散避難」や「車中泊避難」の検討、さらに、避難時における、自助・共助の重要性を伝えました。

2020年 8月30日(日) 谷井田南3区

2020年 9月20日(日) 青木地区

2020年 11月 15(日) 谷井田北5区

その他、山王新田7期及び8期等地区等にて実施。

※新型コロナウイルス感染症対策のため、屋外にて規模を縮小し、当講座を実施しました。



② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

新型コロナウイルス感染症を踏まえた職員による避難所開設訓練を実施



実施内容

1. 八千代町中央公民館及び総合体育館
令和2年8月30日(日)9時～
2. 参加者
 - ・町職員(全職員)
 - ・筑西保健所
 - ・下妻警察署
 - ・ダンボール制作会社
3. 訓練内容
 - ・検温、受付
 - ・誘導(健康な避難者、要配慮者、発熱者等、複数パターン)
 - ・パーテーション及びダンボールベッドの組み立て
 - ・防護服の着脱
4. 概要

コロナ禍における水害の発生を想定し、避難所での検温や3密の回避、体調不良者への対応等についての訓練を実施した。数多くの避難所を開設する観点から、全職員参加とした。訓練を通して災害時の対応についての理解を深めることができた。

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

① 情報伝達、避難計画に関する事項

- ・ 隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築等)

ムービングハウス・コンテナハウスを用いた移動式宿泊施設等整備

移動式宿泊施設ホテルスタンバイリーグさかい



圏央道の境・古河IC近くに**40ft型のムービングハウスを32台を合棟**して建設



クレーンによる組立・解体



受付のIT化



ツイン×2部屋



シングル×45部屋



廊下
39

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

① 情報伝達、避難計画に関する事項

- ・ 隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築等)

ムービングハウス・コンテナハウスを用いた移動式宿泊施設等整備

40ft (12m) コンテナハウス (機能別)

20ft (6m) コンテナハウス (宿泊用)



(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

① 情報伝達、避難計画に関する事項

- ・ 隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築等)

CLT移動式木造建築住宅を導入

グランピング型CLT combo

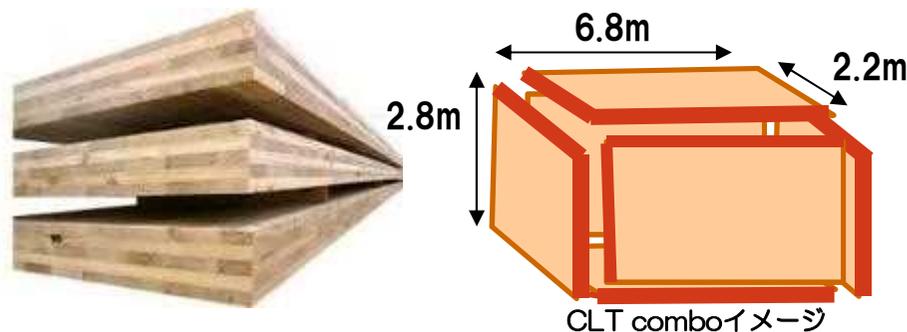


スタンバイリーグさかい前に設置



境町、住友林業、協働プラットフォームとの包括連携協定を締結

CLT (直交集成材) パネル造技術



CLT建設技術及びモバイルオフグリッド技術を活用し、移動式応急仮設住宅を共同開発研究

木材建造物として
国産材の利用拡大・自給率向上
CO²削減による地球環境に配慮

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

① 情報伝達、避難計画に関する事項

- ・ 隣接市町村における避難場所の設定(広域避難体制の構築等)

PFI方式による定住促進住宅整備事業

- 定住人口の増加及び周辺地区の活性化を目的
- 水害時は「**緊急避難場所**」として**使用できる仕様**で建設

アイレットハウス モクセイ館

- ▶ 緊急避難場所：約300人/1棟
- ▶ 屋上にレスキューポイント設定
(屋上面積 367.60㎡)



アイレットハウス さくら館

- ▶ 避難可能人員：約600人/2棟
- (A棟屋上面積 375.52㎡)
(B棟屋上面積 305.32㎡)



(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

- ② 平素からの住民への周知・教育・訓練に関する事項
・水害ハザードマップの改良・周知・活用

広域避難用パンフレット・垂直避難検討マップの作成

コロナ禍の広域避難対応

東京大学大学院
片田特任教授監修

- ① 新たな広域避難用パンフレットの作成
- ② 垂直避難検討マップの作成

台風19号の住民アンケート結果を反映
新たな町外の指定緊急避難場所4箇所を確保



命を守るため、2.5m以下の浸水地域（境町基準）を目安に自ら垂直避難の可否を判断

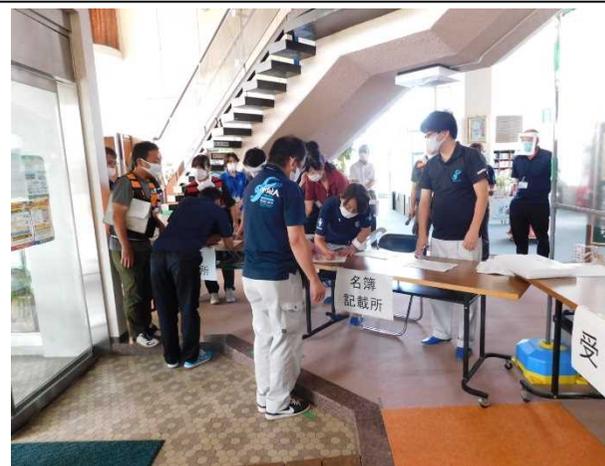
避難所開設訓練の実施

潮来市

職員による感染症対策を考慮した避難所の開設・運営訓練の実施
(①受付開設訓練 ②テント・間仕切り等避難所備品の設置訓練)

位置図及び実施内容

- ◎実施日 令和2年9月10日(木)
- ◎会場 牛堀公民館
- ◎参加者 市長・副市長・職員41名
(福祉・教育部局がメイン)
(管理職16名・一般職25名)



訓練内容

訓練内容

- ①想定は、大雨による自主避難所開設
- ②受付開設訓練(避難所運営マニュアル参照)
 - ・本部より、避難所開設命令
 - ・担当職員の配置(運営責任者・担当)
 - ・備品確認・施設の安全確認及び各部屋の鍵の確認
 - ・受付訓練
 - ・IP無線開所(閉所)報告訓練
- ③避難所割振り(仕切り・テント設置)訓練
演習1・・・受付開設訓練
 - ①施設の安全確認(各施設鍵・駐車場)
 - ・【様式1】避難所開設準備チェックシート
 - ②備品の確認
 - ③受付設置
 - ・避難所表示板、諸注意、テーブル類
 - ・感染予防対策(検温、消毒、防護類)
 - ・【様式2】避難者名簿
 - ・【様式3】避難者管理台帳
 - ④受付方法確認
(一般避難・要配慮者のエリア分け)
- 演習2・・・避難スペース等設置訓練
 - ①避難所別レイアウト(案)の確認
 - ②一般避難者のスペース設置
 - ・通路の確保
 - ③要配慮者避難スペースの確認

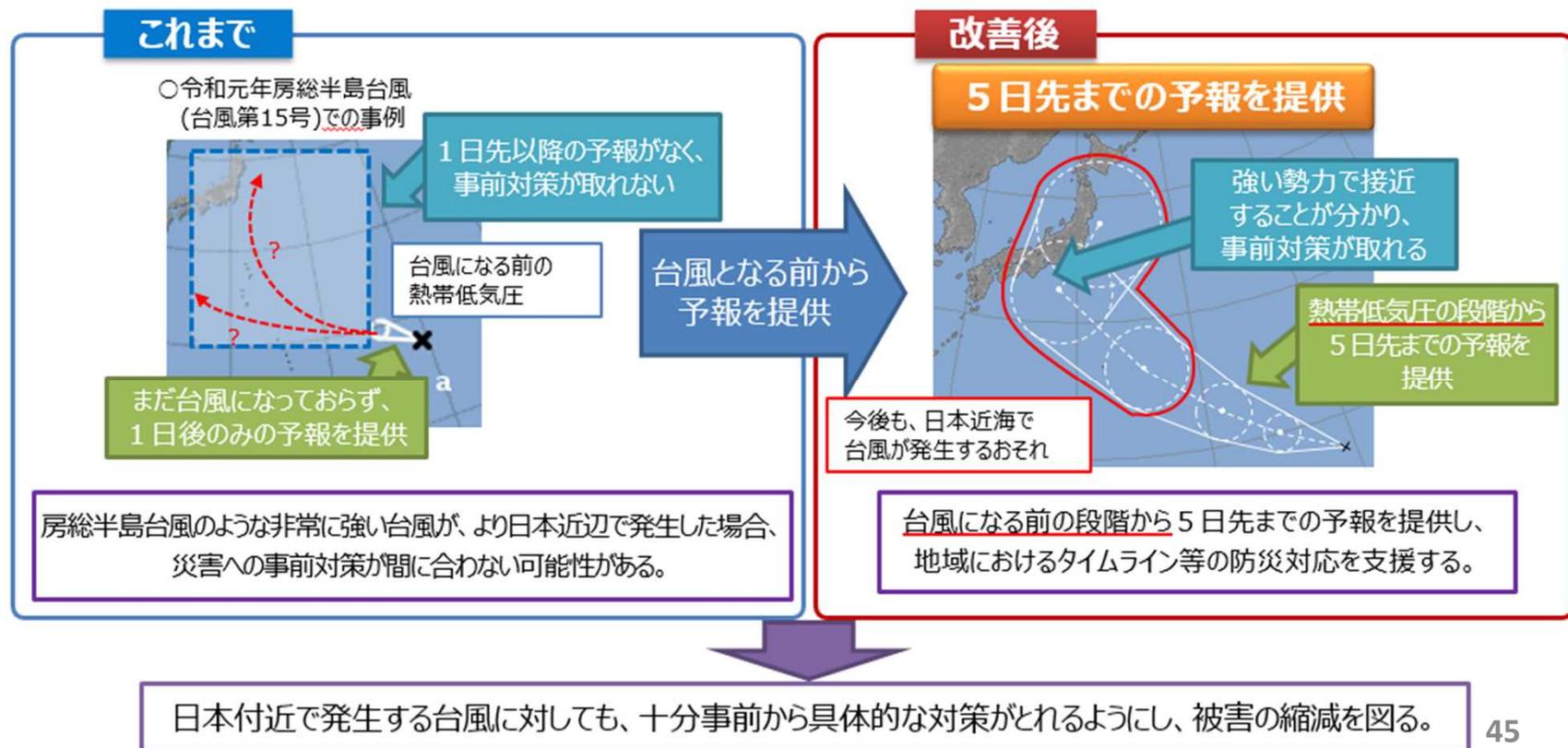
①情報伝達、避難計画等に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度取組状況

発達する熱帯低気圧に関する情報の充実

台風接近時の防災行動計画(タイムライン)に沿った対応を効果的に支援するため、24時間以内に台風が発達する見込みの熱帯低気圧の予報を、これまでの1日先までから5日先までに延長



①情報伝達、避難計画等に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度 of 取組状況

大雨特別警報解除後の洪水への警戒呼びかけの改善

大雨に関する熊本県気象情報 第12号
令和2年7月4日12時23分 熊本地方気象台発表

大雨の峠を越え、大雨特別警報は警報に切り替えましたが、球磨川では氾濫が発生している所があるため、洪水への一層の警戒が必要です。指定河川洪水予報をご確認ください。

球磨川洪水予報(臨時)
令和2年7月4日12時00分
国土交通省 八代河川国道事務所
気象庁 熊本地方気象台

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川では今後も氾濫に警戒が必要です。

熊本県の大雨特別警報は大雨警報に切り替わりましたが、球磨川の洪水はこれからも警戒が必要です。天候が回復しても、氾濫が発生するおそれがあるため、洪水への一層の警戒が必要です。

■ 球磨川 では、**氾濫発生情報(警戒レベル5相当情報)** を発表中です。

| 河川名 | 水位観測所 | 水位状況 | 今後の見込み |
|-----|-----------------|----------|----------------|
| 球磨川 | 球磨川(熊本県八代市) | 氾濫発生中 | 水位上昇中。まもなく最高水位 |
| 球磨川 | 大野(熊本県球磨郡球磨村) | 氾濫発生中 | 水位は横ばい |
| 球磨川 | わたたり(熊本県球磨郡球磨村) | 氾濫発生中 | 水位は横ばい |
| 球磨川 | ひとよし(熊本県人吉市) | 氾濫発生中 | 水位は横ばい |
| 球磨川 | いち(熊本県球磨郡阿蘇町) | 氾濫危険水位超過 | 水位は横ばい |
| 球磨川 | たらの木(球磨郡多良木町) | 氾濫危険水位超過 | 水位は横ばい |

大雨特別警報解除後の洪水への警戒を促すため、特別警報の解除を**警報への切替と表現**

警報への切替に合わせて**今後の洪水の見込み**について情報を発表

今後の洪水の見込みを発表し、**引き続き洪水の危険があること、大川においてはこれから危険が高まることを注意喚起**

メディア等を通じ住民へ適切に注意喚起



警報への切替に先立って本省庁の合同記者会見等を開催することで、**メディア等の協力を得て住民に警戒を呼びかける**(SNSや気象情報、ホットライン、JETTによる解説などあらゆる手段で注意喚起)

★気象庁ホームページにおける「河川氾濫に関する情報」は「**府県気象情報**」で確認

①情報伝達、避難計画等に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度の取組状況

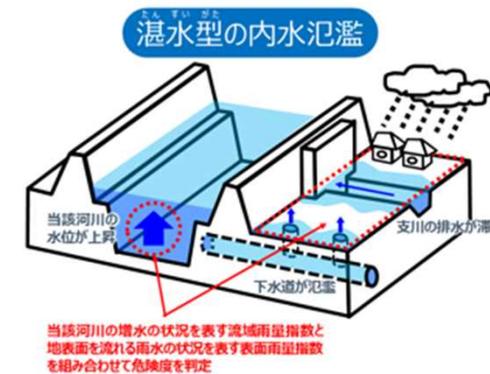
「危険度分布」で本川の増水に起因する内水氾濫の表示を改善

「危険度分布」において「本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）の危険度も確認できるように、本川流路の周辺にハッチを付けて危険度を表示するように改善。



本川の増水に起因する内水氾濫（湛水型の内水氾濫）とは

河川の増水が原因で周辺の支川や下水道からの合流や排水が滞ることによって発生する支川の外水氾濫や下水道の氾濫。本川から支川への逆流によるものや、人為的な水門閉鎖によるものも含む。



①情報伝達、避難計画等に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度 of 取組状況

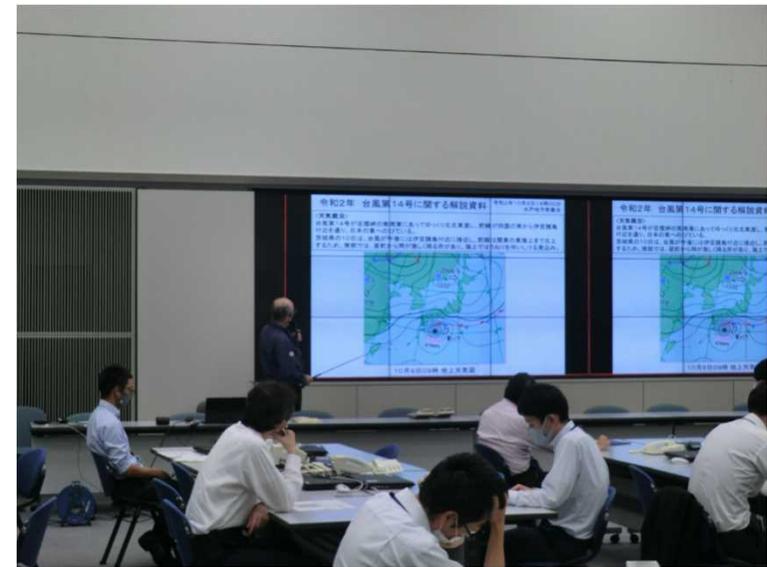
出前講座等を活用した講習会の開催



令和2年9月9日 結城市民文化センターアクロス

茨城県主催による「いばらき防災大学」において、
気象情報の「利活用」について講義を行い、並び
に気象庁ワークショップを開催。

防災情報等に関する説明会の開催



令和2年10月9日 茨城県庁(台風第14号)

茨城県庁と気象台の2箇所で開催。茨城県庁での説明は県内
の市町村や関係機関へWeb配信を実施。

※他、令和2年9月23日台風第12号説明会を実施48

② 平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度の取組状況

eラーニング教材「大雨のときにどう逃げる」の提供

あなたの命、あなたの大切な人の命を守るため

台風・豪雨から「自らの命は自らが守る」基本的な知識ととるべき行動を学ぶ



パソコンやスマホ等で
時間や場所を気にせず
自由に受講
(住民の皆さん)



本教材は、諏訪清二先生（兵庫県立大学 特任教授、防災学習アドバイザー・コラボレーター）の助言を受けながら制作



音声解説付き動画教材
(教材イメージ)

学習する5つのステップ

01. 避難の理解からはじめよう
(避難を行うためのポイントを理解しよう)

02. あなたの家は大丈夫？
(あなたの家の災害リスクを知ろう)

03. どこに逃げたらいい？
(大雨の時の避難先)

04. 避難するときどうする？
(避難にかかる時間を考えよう)

05. いつ逃げたらいい？
(あなたの避難のタイミングを考えよう)

各ステップごと、ふりかえりテストで
重要ポイントを確認しながら学習

台風・豪雨時に備えて
・自宅の災害リスク
・いつ避難すべきか
・どこへ避難すべきか
...が学べます。



学んだことを
ぜひ、周囲の人へ
広めてください

eラーニング教材『大雨のときにどう逃げる』

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/known/jma-el/dounigeru.html>

②平時からの住民等への周知・教育・訓練に関する事項

(1) 円滑かつ迅速な避難のための取組

令和2年度 of 取組状況

小学生を対象とした防災教育の実施

- 郡戸小学校に職員を派遣し、防災知識に関する普及啓発を実施(9月30日)。
- 堀原小学校に職員を派遣し、防災知識に関する普及啓発を実施(10月2日、11月17日)。



令和2年9月30日 常陸太田市立郡戸小学校



令和2年10月2日 水戸市立堀原小学校